

# みんなの議会 お知らせ版

一般質問：令和6年9月18日(水)13:00～

6年3定号

今回も前定例会に引き続き、YouTubeにより試験的にライブ配信を実施します。来場することが困難な方は是非「北海道沼田町議会」で検索してご覧下さい。

順番	質問者	質問項目	答弁者
1	 畑地議員	沼田町ならではのふるさと納税を	町長
2	 鵜野議員	農業経営基盤強化促進法の改正による「地域計画（目標地区）」と「農地中間管理機構（農業公社）」について	町長 農委会長
3	 長野議員	免許返納対策とサポート体制の充実を	町長
4	 篠原議員	マイナ保険証への不安解消を	町長
5	 篠原議員	地域防災に女性の視点を	町長
6	 久保議員	沼田力は、現役世代の孤独死&孤立死を防げるか？	町長
7	 三浦議員	沼田町のPR・広報の充実と各課情報共有で定期的な更新を	町長
8	 上野議員	公共施設等総合管理計画策定のその後について	町長
9	 大沼議員	冬期間の生活支援を	町長

令和6年第3回定例会は、9月18日～19日までの予定です。

9月18日 10:00～ 町長「一般行政報告」、教育長「教育行政報告」  
13:00～ 一般質問(9件)

- 中途からの入場、中途退場もできますので、お気軽に傍聴下さい。
- 議場は役場3階です。ふれあいからエレベーターをご利用下さい。
- ふれあい1階ロビーでも、議会のテレビ中継がご覧いただけます。
- ライブ配信は途中で映像が途切れる場合があります。その際は時間をおいてから再度「北海道沼田町議会」で検索してご覧下さい。

お問合せ先：沼田町議会事務局

【町長】

通告順	1	質問議員	畑地議員
質問項目	沼田町ならではのふるさと納税を		
質問内容	<p>5月29日に食料農業農村基本法の改正法が成立しました。</p> <p>基本路線では、食料安全保障の抜本的な強化、環境と調和のとれた産業への転換、人口減少下における農業生産や地域コミュニティの維持などが盛り込まれています。お米を巡る需給環境が激変し、ふるさと納税で食料を確保する動向もあって、令和6年産米からの受付にも今まで以上に特色を出すことが必要ではないか。雪中米など環境負荷低減に資する特長を提示することで、寄付者の関心や共感を呼びリピーターを増やして欲しい。</p> <p>町長</p> <p>①ふるさと納税の返礼品にはお米が多く、どの自治体でも似通った商品紹介になっています、差別化することを検討出来ないのか。</p> <p>②農水省による温室効果ガス排出削減への貢献率等級表示やSDGsを活用するなど、沼田町ならではの見える化表示は出来ないのか。</p>		

# 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」

- **みどりの食料システム戦略**に基づき、消費者の選択に資する環境負荷低減の取組の「見える化」を進めます。
- 化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用低減、バイオ炭の施用、水田の水管理などの栽培情報を用い、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減への貢献の度合いに応じ星の数で分かりやすく表示します。
- 米については、**生物多様性保全**の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて等級表示できます。
- 農産物等にラベル表示するための基本的な考え方と、算定・表示の手順を整理したガイドラインを策定し、令和6年3月に「見える化」の本格運用を開始しました。  
(登録番号付与209件 令和6年6月末時点)(販売店舗等358か所 令和6年6月末時点)
- 生産者・事業者に対する算定支援や販売資材の提供を引き続き実施します。



## 温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定。

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

排出(農薬、肥料、燃料等) - 吸収(バイオ炭等)

★ : 削減貢献率5%以上  
★★ : // 10%以上  
★★★ : // 20%以上



※上記の商標は商標出願中です

## 対象品目：23品目

米、トマト(露地・施設)、キュウリ(露地・施設)、ミニトマト(施設)、なす(露地・施設)、ほうれん草、白ねぎ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、温州みかん(露地・施設)、ぶどう(露地・施設)、日本なし、もも、いちご(施設)、茶 ※括弧書きがないものは全て露地のみ

## 生物多様性保全への配慮

※米に限る

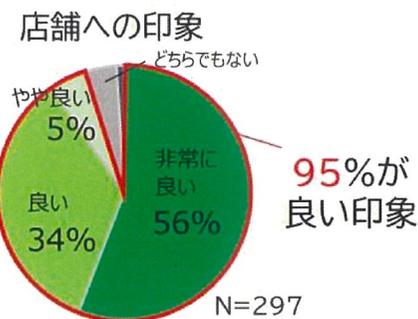
<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点1点  
★★ : // 2点  
★★★ : // 3点以上

## 消費者へのわかりやすい表示

(令和4年度・令和5年度 実証より)



令和4年度・令和5年度実証において  
全国のべ**789**か所で販売  
(令和6年3月末時点)

【町長・農委会長】

通告順	2	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	農業経営基盤強化促進法の改正による「地域計画（目標地図）」と「農地中間管理機構（農業公社）」について		
質問 内容	<p>今年、25年ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正され、昨年は「農業経営基盤強化促進法」の改正法が施行されました。これによると、これまでの「人・農地プラン」を地域計画として法定化し、地域の農業者等の話し合いによる将来の農地利用の姿を「目標地図」として明確化し、「農地バンク」を通じて農地の集約化を促進することとしています。この事により、地域計画（目標地図）を令和7年4月までに作成しなければなりません。この地域計画が農地中間管理事業で農地を動かすという制度設計になっていますが、地域計画の策定と農地バンク事業について質問します。</p> <p>・地域計画の策定にあたっては農業者や地域のみなさんの話し合いにより、10年後を見据えて、農地の集積された「目標地図」により集約化を進めるとあるが、沼田町においても、農家個々の理解が容易にえられるのか難しいが、今後は農地の集約化を考えると地域の意見をまとめて行く時期です。地域計画を沼田町農業振興計画に落とし込んで、沼田独自の「未来予想地図」を作ってみてはどうか。（町長）</p> <p>・地域計画が農地中間管理事業で農地を動かすことで遊休農地、耕作放棄地が解消されるとしているが、今後沼田町ではスムーズな流動化が図られると考えられるか。何が必要と考えられるか。（農業委員会会長）</p> <p>農地中間管理機構（農業公社）について</p> <p>・今後は公社から土地購入後に支払われる「経営安定助成金」が廃止されるが、沼田町では農地流動化対策をこれと合わせて行ってきました。今後も継続を望みますが、新しい制度に合わせた事業への転換、拡充と工夫も必要と考えるが。（町長）</p>		

【町長】

<p>通告順</p>	<p>3</p>	<p>質問 議員</p>	<p>長野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>免許返納対策とサポート体制の充実を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>沼田町の高齢化が加速している。総人口に占める 65 歳以上の高齢化率は 44%を超え、その後も増加傾向と推定され令和 22 年には 51%になると見込まれている。外出の移動手段としては自動車（自分で運転 64.3%）が 1 位を占めている。【沼田町第 9 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画より】</p> <p>全国ではアクセル・ブレーキの踏み間違いや高速道路の逆走等、高齢者の事故が多発している。<b>資料 1</b>本町では、「地域交通安全重点対策事業助成金」の制度があるが、現状を鑑みるにあたりこの程度では心もとない。併せて、自動車免許返納後も含めた高齢者の足の支援が急務である。沼田独自の仕組みで、サポートしてこそ「いつまでも幸せに暮らせるまちづくり」ではないか。以下に、免許返納対策とサポート体制の充実を問う。</p> <p>1, 免許返納者へ奨励金を 免許返納を決断するにあたって奨励金 10 万円を支給し、これまでの功績を讃えると共に、自他の交通安全の維持・促進を奨励する免許返納の「決断を後押しする」助成をしてはどうか。</p> <p>2, サポカー補助金の沼田町の独自助成を サポカーは①自動ブレーキ、②車線逸脱警報、③アクセルとブレーキの踏み間違い防止、④駐車支援システム等が搭載されており、これらの技術は特に高齢者の事故防止に効果的とされ、多くのシニアドライバーに支持されてきた。 <b>資料 2</b>諸事情から国の「サポカー補助金」が 2021 年 11 月に廃止された。返納したくても返納できない人のために、町独自のサポートをしてはどうか。</p> <p>3, 通院タクシー料金の助成を 町内には、排泄の関係上、JR やバスなどの公共交通機関に乗れず、タクシーでの通院を余儀なくされている高齢者がいる。今後、後期高齢者が増加する事も懸念材料の一つであり、自動車免許を持たない通院要件を満たす高齢者の<b>資料 3</b>「深川市までの通院タクシー料金助成」をしてはどうか。</p>		

資料 1

## 沼田町地域交通安全重点対策事業

内 容	対 象
<p>① 運転免許を自主返納した方に対して町内で使える又マカポイント 3,000 円分</p> <p>② 運転経歴証明書発行手数料 1,100 円</p> <p>③ JR 沼田-深川間往復 10 回分 = 6,800 円</p> <p><b>【合計 10,900 円】</b></p>	<p>免許自主返納者</p>

## 資料2 2021年11月に廃止された国のサポカー補助金

【出典：経済産業省】

ドライブなんて久しぶりですね

せっかくの新車だからな!

それにしてもこの辺も変わったなあ

そうですね、すいぶんと賑やかになって...

私たちが気をつけなきゃですね...

...はあ... サポカーにして本当によかった...

うわっ! PIPiPi キッ

踏み間違い時にサポートする技術も!

**65歳以上の方対象 サポカー補助金**

登録車なら最大	軽自動車なら最大	中古車なら最大	後付け装備なら最大
<b>10万円</b>	<b>7万円</b>	<b>4万円</b>	<b>4万円</b>

※サポカー補助金は、対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置を搭載した車の購入等を支援します。詳しくは [サポカー補助金](#) で検索

対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置を含む先進安全技術は、交通事故の防止や被害の軽減に役立ちますが、機能には限界があります。路面や気象条件によっては作動しない場合もありますので、機能を過信せず、引き続きドライバーの覚悟が常に安全運転に心がけていただくようお願いいたします。

65歳以上の方対象サポカー補助金			
登録車なら最大	軽自動車なら	中古車なら最大	後付け装備なら最大
10万円	7万円	4万円	4万円

★乗用車で、自動ブレーキとペダル踏み間違い防止機能がある場合の例

①新車の場合：最大で **10万円**

②中古車の場合：最大で **4万円**

資料3 沼田～深川間の通院のためのタクシー料金

$(5,840 \text{ 円} \times 2) \times \text{月} 2 \text{ 回} \times 12 \text{ カ月}$

＝年間 **28 万円** の出費

【町長】

<p>通告順</p>	<p>4</p>	<p>質問 議員</p>	<p>篠原議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>マイナ保険証への不安解消を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>国民健康保険と後期高齢者医療保険の保険証が12月以降使えなくなるという誤った認識があり、町民を不安にさせている。正しくは、新規の発行が終了するということであり、現行の保険証も有効期限まではそのまま使えるのだが、そこにはあの手この手でマイナ保険証の利用を増やそうとしている政府の意図が透けているようにも思える。このような不安の声に対して町はどのように説明していくのか。町長の考えを聞きたい。</p>		

資料 保険証廃止に伴う「資格確認書」送付などに関する自治体アンケート（長野県保険医協会実施：2024年7月26日）

1. 現在の国民健康保険証は12月2日以降の廃止になりますが、貴自治体で国民健康保険加入者の「マイナ保険証」の利用登録率はどのくらいですか。

	市町村数	割合
およそ把握している	58	75.3%
一部把握登録率不明	6	7.8%
把握できていない	13	16.9%
合計	77	100.0%

およそどのくらい把握しているか

およそ35～40% 4   およそ41～45% 0   およそ46～50% 3

およそ51～55% 10   およそ56～60% 25   およそ61～65% 10

およそ66～70% 6

2. 貴自治体で国民健康保険加入者の「マイナ保険証」の利用登録者の有効期間や電子証明書の失効時期を把握していますか。

	市町村数	割合
把握している	12	15.6%
把握できていない	54	70.1%
わからない	11	14.3%
合計	77	100.0%

3. 「マイナ保険証」利用登録がない方に「資格確認書」を送付することになっていますが、貴自治体の対応はいかがですか。

	市町村数	割合
全加入者に送付	10	13.0%
利用登録者以外に送付	30	39.0%
申請者のみ送付	16	20.8%
その他	21	27.3%
合計	77	100.0%

4. 今年10月から「マイナ保険証」の利用登録解除ができるようになりますが、貴自治体では「資格確認書」発行に対応したシステム構築についての状況はいかがですか（複数回答可）。

	市町村数	割合
システム構築の検討をしている	62	80.5%
他システムとの連携の問題で改修が難しい	1	1.3%
国の財政支援が分からないと検討できない	1	1.3%
まだ検討していない	7	9.1%
内容が複雑すぎて見通したたない	2	2.6%
わからない	4	5.2%
その他	4	5.2%

n 77

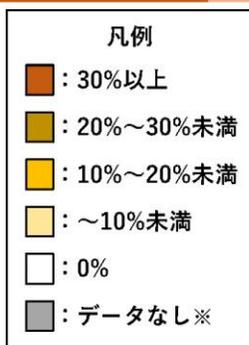
【町長】

通告順	5	質問 議員	篠原議員
質問 項目	地域防災に女性の視点を		
質問 内容	<p>2023年に内閣府が発した「女性の視点に立った防災・復興の取り組み促進について」という通知では、「市町村防災会議の委員に占める女性の割合を早期に15%とし、さらに30%をめざすこと。女性委員のいない市町村防災会議をゼロにする」とされている。</p> <p>今年6月に公表された内閣府男女共同参画局の調査によると、23年末で市町村防災会議における女性委員の割合は、全国平均が11.1%であるのに対し、北海道は47都道府県中最下位の5.1%となっている。実際の数字を見ると、沼田町は19名の委員中女性は0となっている。女性委員の割合を増やすためにどのような取り組みをおこなっているかという質問では、沼田町を含め多くの市町村で特に何もしていないという回答が見られる。</p> <p>防災というと「力のある男性の仕事」というイメージがあるかもしれないが、特に災害時の避難所運営においては女性の視点が重要になる。地域防災に女性の視点を取り入れることについて町長の考えを聞く。</p>		

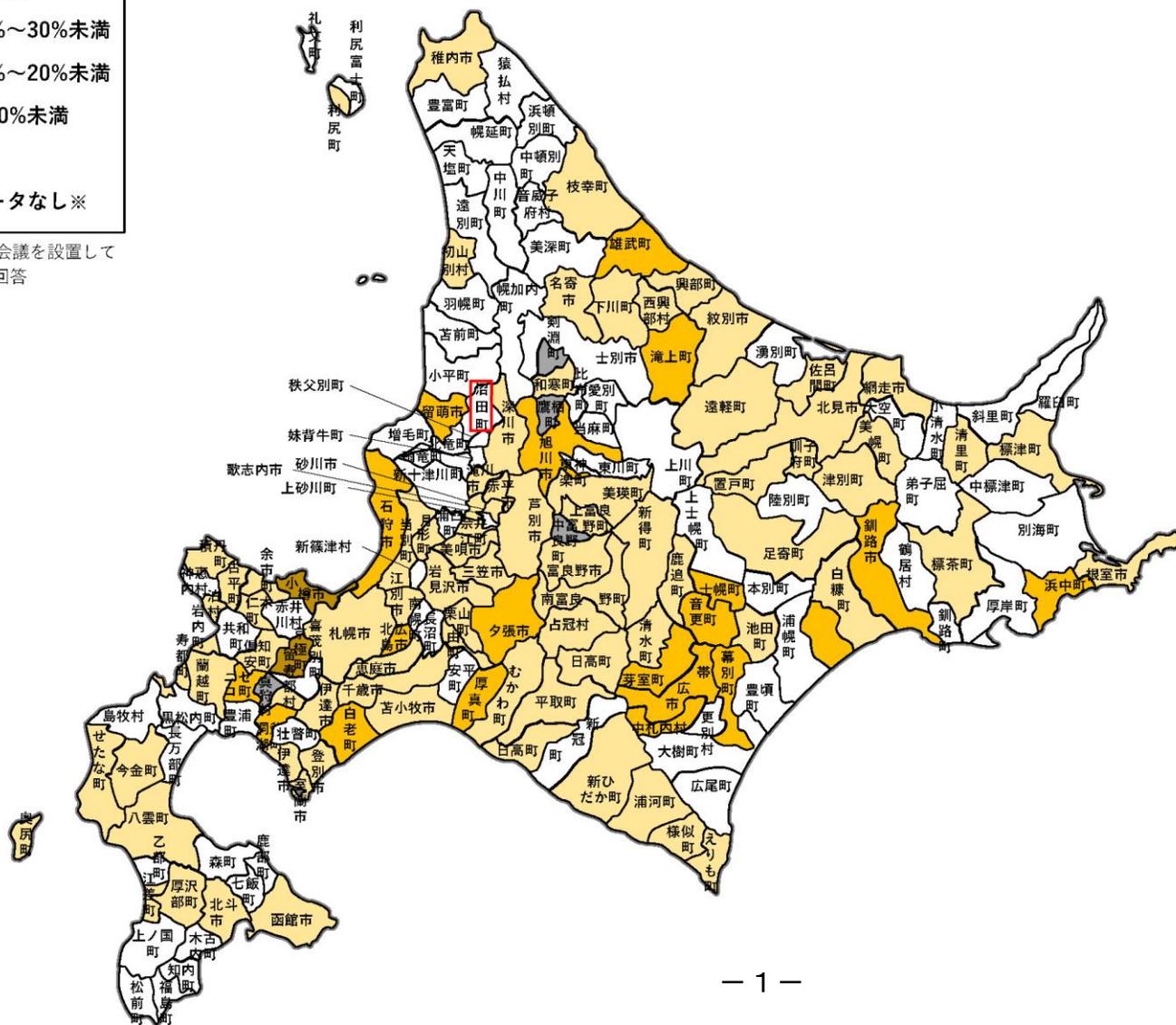
資料 内閣府男女共同参画局「ガイドラインに基づく地方公共団体の取り組み状況調査」（令和5年）

北海道

地方防災会議の女性委員の割合



※ 地方防災会議を設置していないと回答



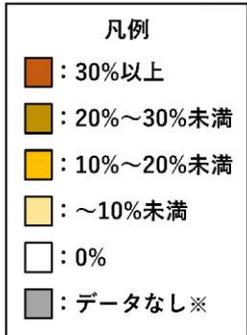
市区町村上位5位ランキング

(女性人数/総数)

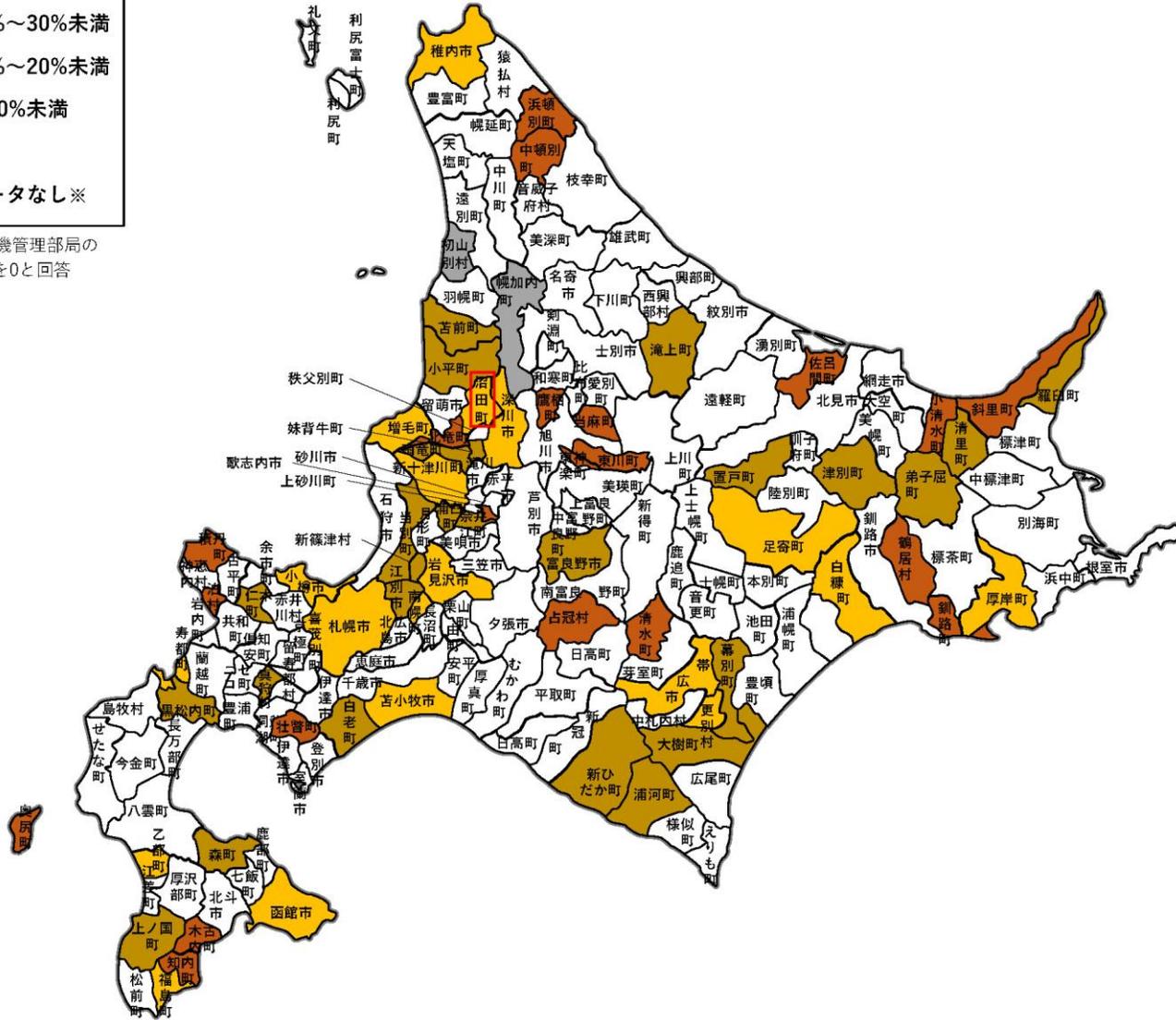
①人口10万人以上の市区町村		
小樽市	23.3%	(7人/30人)
釧路市	17.9%	(7人/39人)
帯広市	17.9%	(5人/28人)
旭川市	17.2%	(5人/29人)
苫小牧市	9.5%	(4人/42人)

②人口10万人未満~3万人以上の市区町村		
石狩市	17.2%	(5人/29人)
音更町	14.7%	(5人/34人)
北広島市	14.3%	(4人/28人)
稚内市	9.1%	(3人/33人)
千歳市	8.1%	(3人/37人)

③人口3万人未満の市区町村		
京極町	22.2%	(2人/9人)
幕別町	18.2%	(6人/33人)
浜中町	18.2%	(4人/22人)
夕張市	14.8%	(4人/27人)
芽室町	14.3%	(4人/28人)



※ 防災・危機管理部局の総職員数を0と回答



市区町村上位5位ランキング

(女性人数/総数)

①人口10万人以上の市区町村

江別市	20.0%	(1人/5人)
札幌市	16.7%	(4人/24人)
小樽市	16.7%	(1人/6人)
函館市	14.3%	(1人/7人)
帯広市	14.3%	(1人/7人)

②人口10万人未満～3万人以上の市区町村

岩見沢市	16.7%	(1人/6人)
稚内市	11.1%	(1人/9人)

③人口3万人未満の市区町村

浜頓別町	66.7%	(2人/3人)
木古内町	50.0%	(3人/6人)
東川町	50.0%	(3人/6人)
知内町	50.0%	(2人/4人)
当麻町	50.0%	(2人/4人)

沼田町では

- ・ 該当職員 12名
- ・ 内女性職員 2名

と報告されている

【町長】

<p>通告順</p>	<p>6</p>	<p>質問 議員</p>	<p>久保議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>りょく 沼田 力は、現役世代の孤独死 &amp; 孤立死を防げるか？</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>全国で孤独死が増え対策が求められる一方で、厚生労働省の担当者は「『孤独』の定義は個人の内面の問題を含むので、孤独死をどう定義するかが難しい。」と語っています。たとえば大家族であっても、同居人との交流が薄ければ孤独と定義できます。また一人暮らしであっても、友人がいて職場や町内会などに積極的に参加されていれば、孤独とは言えないでしょう。そもそも「孤独は悪い」とは言えないので、より問題を複雑化しています。つまり住みよい自治体のバロメータのひとつは、「誰もが社会的に孤立しない社会を築き」つつ、「孤独であっても健康な生活が保障され」、さらに「孤独死が無い」まちです。そして、それらは「移住定住」に直結します。</p> <p>資料①を見てください。沼田町のようにきめ細やかな事業が可能な自治体は、データを根拠に対策を立てる必要があります。</p> <p>問① 役場は孤独死の対策に、どのようなデータを活用していますか？          問② 沼田町の町内会への参加率の近年の傾向は？また地域差は？          問③ 一人暮らしの健康診査の受診率は？共同生活者とどう違うか？          問④ 世代ごとに「健康診査の結果」や「納税」、「公共料金やガス代などの滞納」などを組み合わせて孤独死のサインを把握していますか？</p> <p>これらの質問が示すように、孤独死の問題は原課をまたぎます。つまり、役場の総合力＝「沼田力」が試されています。</p> <p>資料②を見てください。役場はすでに高齢者の孤立死を防止する事業は、地域で孤立しがちな人の「把握」や「見守り」、気楽に「相談」や「交流」を行える「居場所づくり」などを行っています。</p> <p>問⑤ 現役世代の孤独死対策は何を行っていますか？          問⑥ 若年・現役世代向け福祉サービスの情報発信の手法と効果は？          問⑦ 潜在労働力ひきこもり人数の把握や、支援センターはありますか？</p> <p>資料③を見てください。孤独死の対策は、まちづくりに直結します。</p> <p>問⑧ 沼田町の世代ごと一人暮らし率の5、10、15、20年後の推定は？</p>		



# データを根拠に対策を立てよう♪

死の対策の対象は、もはや高齢者だけではない。

近年、お亡くなりになられた沼田町民の**年齢別**の人数

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 9月7日迄
0歳～19歳	0人						
20歳～29歳	0人						
30歳～39歳	0人						
40歳～49歳	0人	0人	2人	1人	2人	2人	1人
50歳～59歳	1人	0人	0人	0人	1人	1人	2人
60歳～69歳	7人	4人	1人	1人	3人	4人	3人
70歳～79歳	6人	11人	4人	5人	7人	7人	4人
80歳～89歳	15人	21人	13人	14人	21人	12人	8人
90歳～	12人	19人	8人	14人	20人	19人	11人

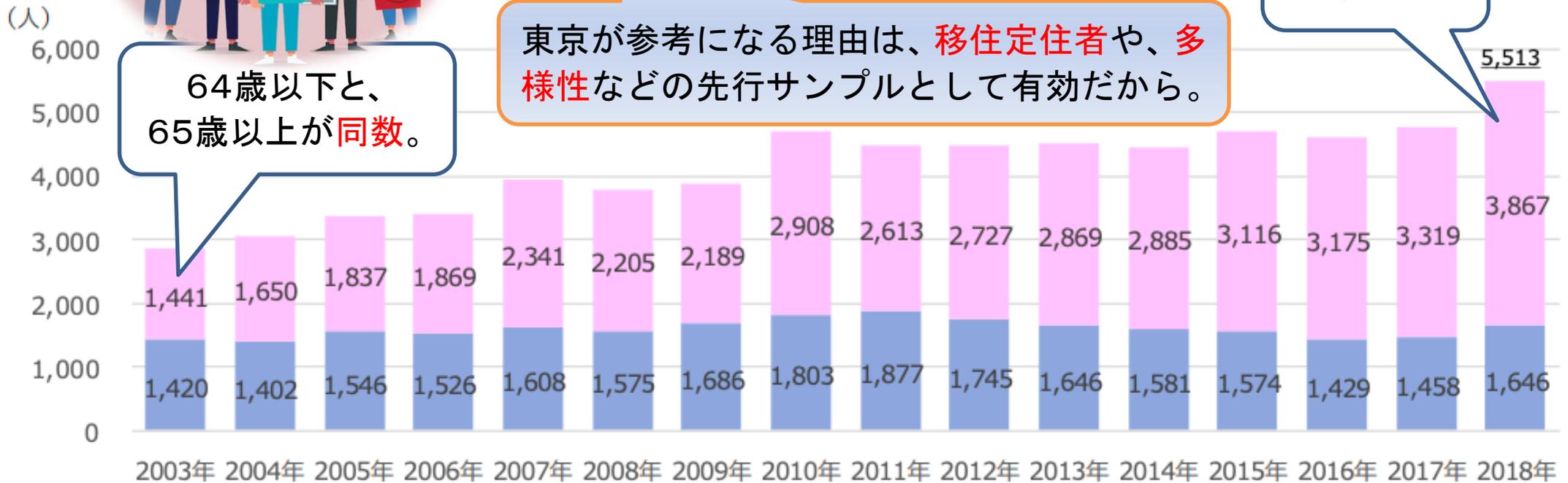
近年は、世代間の格差が減ってきている。

# 孤独死は、老人だけではない。

資料②



【東京都区部における年齢階級別の孤独死数の推移】



65歳以上は約7割。

64歳以下と、65歳以上が同数。

東京が参考になる理由は、**移住定住者**や、**多様性**などの先行サンプルとして有効だから。

非マッチョの生存スペースの確保に公共は貢献できているか？

さらに**コロナ**で孤独死は増加。

注1: 本データでは、孤独死を「異状死のうち、自宅で亡くなられた一人暮らしの人」と定義している。

注2: 異状死は外因死(災害死)とその後遺症・続発症、自殺、他殺、内因か外因か死因が不明な死亡の事例であり、医師による病死との判断がなされず、事件・事故との関連が疑われ、警察署への届出が義務付けられている。

注3: なお、「0～14歳」に関しては、0件であったため(2003～2018年)グラフ非掲載としている。

出典: 東京都「東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった単身世帯の者の統計(平成30年)」より作成

孤独死は流行病や災害など、**非日常に弱い**。



# 疑似的孤独死バリエーションを注視

## 孤独死の7つの特徴 & 共通点。

家事が苦手

病気

無趣味

貧困

孤立

一人

高齢

疑似的孤独死の例

ゼロ歳児虐待

沼田町から転出

認知症

上記7つの撲滅がまちづくり！

家事が苦手な方は食事が適当になり、  
ごみ屋敷になり、不衛生から体調不良  
になり、精神不安定になります。



事業『母子保健』に「おそうじ  
裏技テクニク」なども導入しては？

点ではなく、面の展開を！

孤独死の対策が、事業『移住定住』や  
『地域おこし協力隊』の裏ワザになる♪



事業『社会教育』  
での講座「認知症マメ知識」も良いですが、旧来  
のサークル活動などの、  
やや能動的な環境づく  
りがより効果的では？

それが沼田力です♪

強化するために事業を組み合わせる！

※「疑似的孤独死」とは、久保元宏の造語です。

【町長】

<p>通告順</p>	<p>7</p>	<p>質問 議員</p>	<p>三浦議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>沼田町の PR・広報の充実と各課情報共有で定期的な更新を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>現在町民の多くは、紙媒体ではなく様々なネット環境の中で情報を得ています。本町もホームページやラインなどの SNS を活用し、たくさんの情報を提供していますが、情報の取りまとめや定期的な更新が進んでいない状況にあると思います。</p> <p>町内向けには、タイムリーな正しい情報を伝え行動を起こしてもらうことが大切で、また町外向けには観光施設の紹介や誘致、町の魅力やイベントの告知など、各課の情報を共有し伝えたいターゲットに届けなければなりません。</p> <p>沼田町には夜高あんどん祭りや化石をはじめたくさんの観光資源や情報がある中、今後も PR・広報は益々重要となり、更なる情報発信の基盤を整えホームページや SNS の活用と定期的な更新が必要と考えます。</p> <p>そこで町長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町のホームページを運営管理している課と専任職員の有無</li> <li>2. 防災無線の情報を知ることができるラインがあるが その他の SNS を活用しているか</li> <li>3. 情報を取りまとめる際に各課の情報の共有はどのようにしているか</li> </ol>		

【町長】

通告順	8	質問 議員	上野議員
質問 項目	公共施設等総合管理計画策定のその後について		
質問 内容	<p>令和5年3月に『沼田町 公共施設等総合管理計画』が改訂されました。その後の行政としての対応等について町長に伺います。</p> <p>29ページには「総合的にかつ計画的な管理を実施するための体制の構築方針」とあり、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 推進体制</li> <li>(2) 財政との連携</li> <li>(3) 町民との協働</li> <li>(4) 職員の意識改革</li> <li>(5) 地方公共会計の活用</li> </ul> <p>との記載があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 改定後の具体的に取り組んだ内容</li> <li>2. 特に「町民との協働」で住民への情報の提供、住民説明は行われたのか。 町民の多くはこの管理計画は知らないのでは？</li> <li>3. 計画の達成には財源が必要と考えるが、修繕維持管理に関する目的基金等の検討についての町長の考えは。</li> </ol>		

【町長】

通告順	9	質問 議員	大沼議員
質問 項目	冬期間の生活支援を		
質問 内容	<p>冬期間の生活において除雪作業が離町する一因となっている感があります</p> <p>豪雪地帯の本町では高齢者になるほど家の除雪が重荷になっています</p> <p>高齢化率が44.9%になっていることを鑑みますと高齢者が安心して持ち家で住み続けてもらうためには冬の生活支援策と、雪と共存していくための施策が必要と思います</p> <p>生活支援策としては暖房補助金、エネルギー効率改善補助金、除雪道具購入補助金、コミュニティサポートがあげられます</p> <p>また、雪と共存するための施策としては、環境整備、持続可能な雪利用、地域連携などが考えられます</p> <p>今年はどのような冬になるかわかりませんが、雪の弊害で人口を減らしてはいけないと思います</p> <p>対策としてコミュニティ強化と行政支援の強化が必要と思います</p> <p>豪雪災害への対処を考えながら、雪と共に暮らしやすい町づくりについて町長の所信をお尋ねします</p>		

除雪どうしよう！

HELP !

